

取扱説明書

型番:TW2A-73Z9

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご利用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

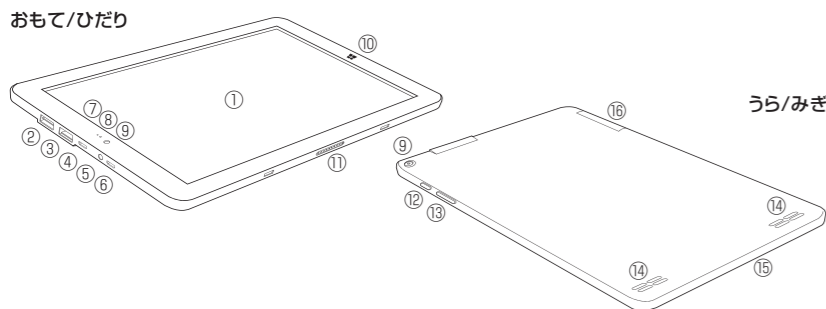
本書で使用しているマークについて

	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

1. セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体 ACアダプター 電源ケーブル(USB TypeAプラグ→micro-Bプラグ)
- キングソフトオフィス ライセンスカード
- 使用上のご注意・サポートガイド 保証書 取扱説明書(本書)

2. 各部の名称と機能



名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB3.0ポート(TypeA)	USB機能はホストモードです。マウス、キーボード、USBメモリーなどUSB機器を接続します。下位バージョンに互換性があります*2つのUSBポートは設計上差し込み向き(表・裏)が異なります
③USB2.0ポート(TypeA)	
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑥電源入力端子(DC-IN)	形状はmicroUSBポートですが、電源入力以外には使えません
⑦照度センサー	ディスプレイの明るさを自動調整するために周囲照度を検知します
⑧充電ランプ	内蔵バッテリー充電中は赤色に点灯、満充電になると消灯します
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズが表面と裏面にあります
⑩Windowsボタン	Windows 10の「スタートメニュー」の呼び出しをおこないます
⑪拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売)に接続するための端子です)
⑫電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑬音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑭ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑮内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑯メモリーカードスロットカバー	カバーを開くと中にmicroSD/SDHC/SDXCカードスロットがあります

電源入力端子の形状はmicroUSBポートですが、本機への電源入力専用です。USB通信をおこなうことはできません。

3. はじめて電源をONにする前に

3-1. ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- 付属のACアダプターに、付属の電源ケーブル(形状:USBケーブル)を接続します。
- 本機の電源入力端子(DC-IN)に電源ケーブルを挿しこみます。
- ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の充電ランプが点灯します。)
- 充電を終えたら②と③をそれぞれ取り外してください。



必ず付属のACアダプターおよび電源ケーブルを使用してください。

本機の定格電源入力は「5V・2A」です。スマートフォン用のACアダプターやUSBハブを介した給電、および純正品以外のUSBケーブルへの交換は、電圧不足などによる本機の性能低下や故障の原因になりますのでおこなわないでください。

バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存してください。

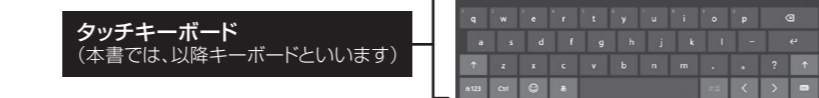
3-2. タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法	マウス時の操作名
タップ	画面の項目を軽く1回たたきます	クリック
ダブルタップ	画面の項目をすばやく2回連打します	ダブルクリック
長押し	画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	右クリック
スライド	画面に触れたまま、指先を滑らせるように動かします	スクロール
スライド	項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	ドラッグ
スライド	画面の外枠に指に触れたまま、画面の内側に向けすばやく動かします	—
スワイプ	画面の外枠に指に触れたまま、画面の内側に向けすばやく動かします	—
ストレッチ	2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます(画面の拡大)	—
ピンチ	2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます(画面の縮小)	—

タッチ操作しにくい作業の場合は、外付けキーボードやマウスをご利用ください。市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

3-3. タッチキーボードの操作方法について

これからおこなうWindowsの初期設定の中で文字の入力が必要になると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができるタッチキーボードが表示されます。



【ローマ字変換入力】
キーボードが表示されたときすぐの状態は「ローマ字変換入力」です。画面の文字をタッチタイピングしていくと表示される、文字変換候補をタップすることで日本語変換しながら文字入力します。

ローマ字入力したあとに、カタカナ文字やアルファベット文字に切り替わります。選択したい文字変換候補にタップすることで文字入力します。(変換をすませると、自動的に日本語変換に戻ります。)

【アルファベットを直接入力】
キーボードの一番下の列にある「あ」をタップし、「A」に切り替えてからタイピングするとアルファベット文字が直接入力できます。キーボードの両脇にある「↑」に触れた状態でもタイピングすると、直接大文字で入力できます。

【記号や数字の入力】
キーボードの一番下の列にある「123」をタップすると、記号と数字用のキーボードに切り替わります。

キーボードの一番下にある「☑」をタップすると絵文字用のキーボードに切り替わります

●右下の「☑」をタップすると、キーボードのスタイルや言語を選ぶことができます。

おにも親指で文字を入力するスタイル
手書きで入力するスタイル

Windowsの初期設定完了後、タッチキーボードは、文字入力が必要ときにディスプレイ右下のタスクトレイにあるキーボードボタンをタップして表示させます。



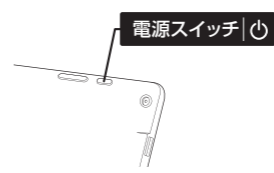
4. Windowsの初期設定 (「セットアップ」ともいいます)

4-1. 本機にACアダプター・電源コードを接続する

Windowsの初期設定をおこなうときは、必ず本機にACアダプター・電源コードを接続し、初期設定が終わるまでACアダプター・電源コードを取り外さないでください。初期設定には少し時間がかかります。決して電源をOFFにしないでください。途中画面が何度か暗くなる場合がありますが、初期設定は進行しています。

4-2. 本機の電源をONにする

本機上部の裏面にある電源スイッチを押します。



初めて電源をONにするとき、および前回「シャットダウン」で終了したとき **3秒以上長押し**

前回「スリープ」にしたとき **カチッと短押し**

4-3. 初期設定の開始

初期設定は画面に表示される手順ですすめれば完了できますが、いくつかポイントになる事項を説明します。(以下にない画面はその画面の説明にしたがってください。途中画面表示が一時的に横⇄縦に切り替わる場合がありますが故障ではありません。)

- 「地域と言語」**
初めて電源をONにすると、しばらくの間ONKYOロゴなどが表示されたあと初期設定手順が始まります。「こんにちは」画面などを経て「地域と言語」画面から表示されます。地域と言語の初期設定内容は以下です。
・お住まいの国/地域【日本】 ・アプリで優先する言語【日本語(日本)】
・キーボード(Microsoft IME・固定) ・タイムゾーン((UTC+09:00)大阪、札幌、東京)
>>>内容を確認のうえ、異なる場合は修正し「次へ」をタップします。
- 「これは法的文書です」** ライセンス条項です。画面をスライドしてお読みください。>>>「承諾する」をタップします。
- 「接続する」**
無線LANの設定です。

無線LANの設定は後でおこないます。「この手順をスキップする」をタップします。

④「すぐに使い始めることができます」設定方法を選ぶことができます。>>>「簡単設定を使う」をタップします。(※)

※Microsoft社に情報を送信したくない場合などは「設定のカスタマイズ」も選択可能(※)

⑤簡単設定を使う(続き)
ONKYOロゴや「お待ちください」が表示された後、「このPC用のアカウントの作成」画面が表示されます。(アカウントとは、ユーザー名とパスワードのセットのことです。)

ユーザー名とは、本機の電源ボタンをONにしたときログイン画面に毎回表示される使用者の名前のことです。パスワードとは本機にログインするためのパスワードです。本機をどこかに置き忘れた場合などに備えパスワードも作成しておきましょう。

- ユーザー名(の作成):1文字以上必要で、文字体には制限がありません。例えば漢字も使用できます。
- パスワード(の作成):1文字以上必要で、アルファベット、数字、記号が使用できます。複数の文字体を組み合わせ計8文字以上にして安全性を高めます。生年月日や1234などの連続した文字列はさけてください。

>>>ユーザー名の入力欄をタップすると画面下部にキーボードが表示されます。任意のユーザー名を入力し、続いてパスワードの入力欄をタップします。
>>>続いて任意のパスワードを入力し「次へ」をタップします。

パスワードはメモしておくとともに、思い出しやすいパスワードのヒントを入力しておきましょう。パスワードを忘れると本機にログインすることができなくなります。

このアカウントはローカルアカウントと呼ばれ、本機にログインするためだけに使うものです。なお、パスワードを作成しなかった場合はパスワードなしで本機にログインできます。また、パスワードは後で作成することもできます。

⑥「こんにちは」から始まるMicrosoftからのメッセージが画面に表示されます。しばらくそのまま待ちます。

⑦「デスクトップ画面」が表示されます。

Windows 10の初期設定はこれで完了です。

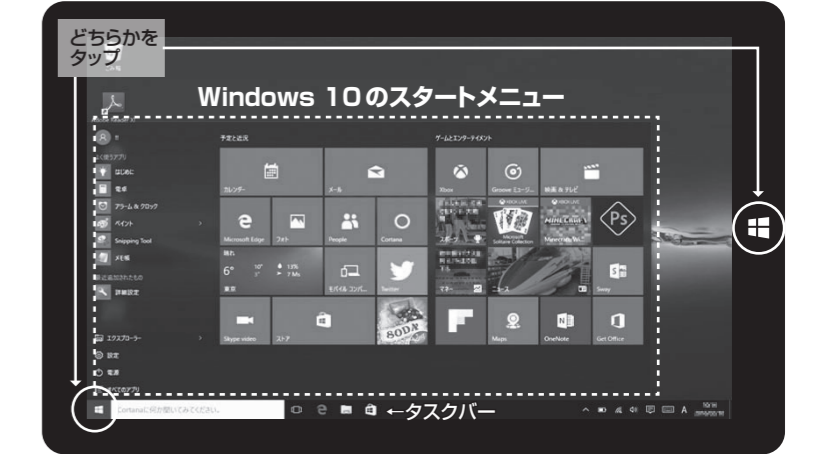
次回から、本機の電源をONにするときは⑥で登録したパスワードをログイン画面に入力します。[別冊 5-4 次回電源をONにするときは]

5. 本機を使い始める

さあ、使いはじめましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。画面は横向きでも縦向きでもご利用いただけます。(スピーカーは縦向き配置です。)

5-1. 「スタートメニュー」を開く

画面左下または画面枠の外にある「☑」をタップして、「スタートメニュー」を開きます。



スタートメニューを説明します。
●「よく使うアプリ」と「タイル」
ご購入時点では、本機にプリインストールされているおもなWindowsアプリがここに表示されます。使用するアプリのアイコンやタイルをタップして起動します。

● エクスプローラーをタップ→ドライブやフォルダ、ファイルなどが一覧できるウィンドウが表示されます。画面下のタスクバーにもエクスプローラーを表示させるボタンがあります。

アプリを終了するときやウィンドウを閉じるときは、ウィンドウの右上にある×をタップします。これらの記号は左からウィンドウを「非表示にする」「小さくする(最大化する)」「閉じる」を意味しています。

● 設定をタップ→Windows 10で新デザインになったWindowsの各種設定やカスタマイズがおこなえる画面が表示されます。

● 電源をタップ→電源をOFFにするためのウィンドウが表示されます。(電源をOFFにするときに、いずれかを選んでタップします。)
・スリープ:再操作時に早く起動できます。
・シャットダウン:通常の電源OFF方法です。
・再起動:シャットダウンして、すぐ再起動します。

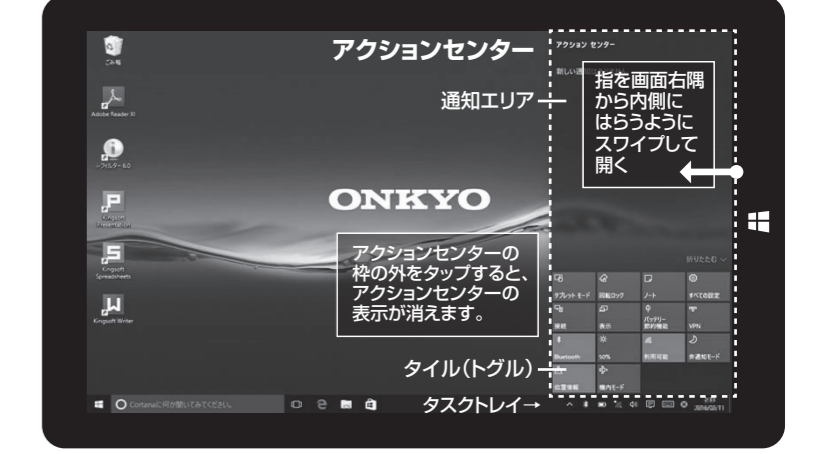
電源スイッチを使用して、本機の電源をOFFにすることもできます。スリープ:電源スイッチをカチッと短押ししてOFFにします。シャットダウン:電源スイッチを3秒以上押し続けます。画面に右のメッセージが表示されたら▽に触れたまま画面下枠へスライドします。
※電源スイッチの長押しを10秒以上続けることで強制終了できますが、故障の原因になりますので、やむをえない場合以外はおこなわないでください

● すべてのアプリをタップ→本機にインストールされているすべてのアプリの一覧が表示されます。上下にスライド(スクロール)させて、使用するアプリのアイコンをタップして起動します。

スタートメニューの枠の外をタップすると、スタートメニューの表示が消えます。

5-2. 「アクションセンター」を開く

指を画面右隅から内側にはらうようにスワイプして、「アクションセンター」を開きます。



画面右下のタスクトレイにある右のボタンも、アクションセンターへの入り口です。タップすることでアクションセンターを表示できます。

(⇒裏面につづきます)

(⇒ 表面「5-2 アクションセンターを開く」つづき)

アクションセンターを説明します。

●「すべての設定」タイルをタップ

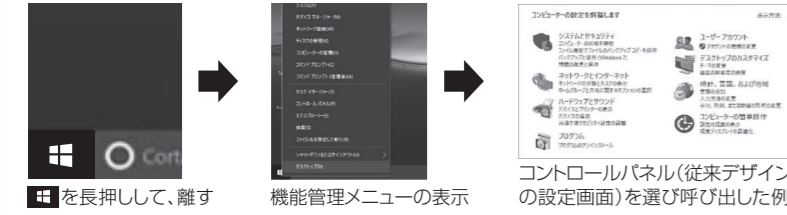
Windows 10で新デザインになったWindowsの各種設定やカスタマイズがおこなえる画面が表示されます。(スタートメニュー経由の設定画面と同じです。) それぞれタップして内容を参照しておきましょう。

●設定頻度が多い項目がタイルのタップからおこなえます。

- ・デスクトップモードとタブレットモードの切替
- ・画面回転のロック、ロック解除
- ・ワイヤレスディスプレイなどへの接続
- ・〔外部ディスプレイへの〕画面表示
- ・〔無線LANの接続〕・〔Bluetooth機器との接続〕
- ・〔画面の明るさ〕・〔飛行機などの機内モード〕 ほか



画面左下の を長押しして指を離すと、Windows 10以前のバージョンでなじみのある「機能管理メニュー」を呼び出すことができます。ここからの操作も可能です。



5-3. 設定をおこなう

ここでは設定作業例として、ご使用になる前のいくつかの重要な設定方法を説明します。

■無線LANの設定方法 (本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

これからインターネットをはじめの方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN IEEE802.11 b/g/n	5GHz帯 無線LAN IEEE802.11 a/n/ac
-----------------------------------	----------------------------------

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。

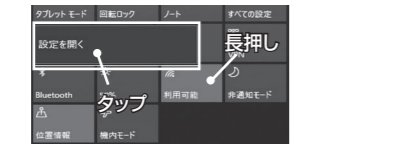
・ネットワーク名 (SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前で

・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WEPキー、WPAキーなど)

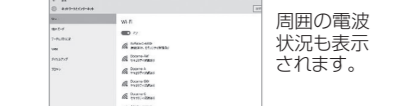
①アクションセンターを開き、 タイルをタップ(点灯させます)⇒



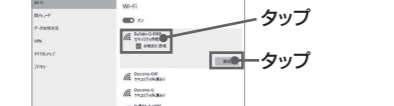
②点灯した タイルを長押しして表示される「設定を開く」ウィンドウをタップします。⇒



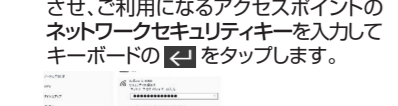
③設定画面(すべての設定) 中の「ネットワークとインターネット」⇒「Wi-Fi」設定画面が表示されます。⇒



④周囲の電波状況表示の中からご利用になるネットワーク名 (SSID) を選びタップ⇒続いて「接続」をタップします。



④画面右下のタスクトレイにあるボタンをタップしてキーボードを表示させ、ご利用になるアクセスポイントのネットワークセキュリティキーを入力してキーボードの をタップします。



画面右下のタスクトレイにある ボタンをタップすることでアクションセンターに無線LANの設定を表示させる方法もあります。



(ネットワークセキュリティキーの入力は、1アクセスポイントにつき初回のみです。)

これで無線LANの設定は完了です。

■スリープ時の無線LAN通信をOFFにする方法

スリープ時に無線LAN通信を維持する必要がある場合は、バッテリー消費をさらに節約するために、スリープ時の無線LAN通信機能を自動的にOFFにする設定ができます。

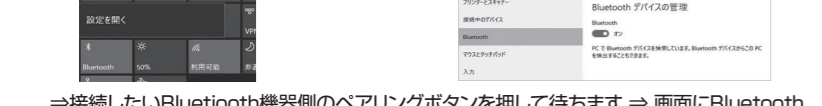
アクションセンター⇒「すべての設定」タイルをタップ⇒設定-「システム」⇒「電源とスリープ」をタップします。

右のように「WiFi」のチェックボックスをはずします。(お好みで設定してください。)



■Bluetooth機器との接続(ペアリング)方法 (必要がある場合におこなってください)

アクションセンター⇒「Bluetooth」タイルをタップ(点灯)・点灯後長押し⇒「設定を開く」をタップの手順で、設定-「Bluetoothデバイスの管理」画面に移動します。



⇒接続したいBluetooth機器側のペアリングボタンを押して待ちます ⇒画面にBluetooth機器名とペアリングの準備完了メッセージが表示されたら「ペアリング」をタップします。

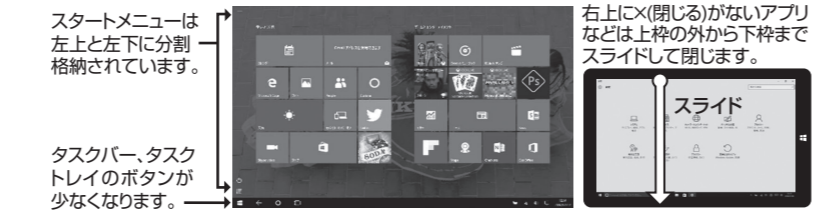
⇒その後パスワード等の入力求められるたら接続するBluetooth機器側の取扱説明書をご参照のうえ入力してください。(パスワード入力は1機器につき初回のみです。)

[本機のBluetooth通信範囲: 見通し距離約10m] これでBluetooth機器の接続は完了です。

Bluetooth機能を使わないときは、バッテリー消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、アクションセンターのBluetoothタイルを消灯 (OFF) しておきましょう。

■デスクトップモード⇔タブレットモードの切り替え方法

アクションセンターを開き「タブレットモード」タイルをタップして切り替えます。タブレットモードとは、タブレットに最適化された、アイコン操作主体の画面モードです。お好みで選択してください。



タスク表示エリアの、ボタンがない空欄部分を長押しして離すと、キーボードボタン などのボタン表示を追加する設定がおこなえるウィンドウが表示されます。

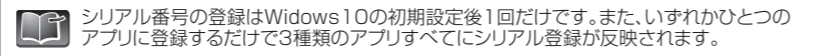
■アイコンや文字の表示サイズを大きくする方法 (100%表示⇒125%拡大表示)

アクションセンター⇒「すべての設定」タイル⇒設定-「システム」⇒「ディスプレイ」⇒「テキスト、アプリ」、その他の項目サイズを変更する」の下にあるスライダーの右端をタップ⇒(125%に拡大されます) ⇒「今すぐサインアウトする」をタップ後、再度サインインします。

■KINGSOFT Officeのシリアル番号を登録する方法 (*当社プリインストールアプリ)

本機にプリインストールされているキングソフトオフィス(永続版)を使用するために、付属の「キングソフトオフィスライセンスカード」に記載されている「シリアル番号」を登録する手順を説明します。(登録後もライセンスカードは大切に保管してください。)

①キングソフトオフィスは右の3種類のアプリです。デスクトップアイコンのダブルタップ、またはスタートメニュー⇒「すべてのアプリ」⇒「Kingsoft Office」のフォルダをタップして、その中に表示されるアイコンのいずれかひとつをタップします。



②文書のユーザー情報ウィンドウが表示されたら >>> 「OK」をタップ、

③ユーザーアカウント制御画面が表示されたら >>> 「はい」をタップします。

④シリアル管理ウィンドウが表示されたら >>> 「追加」をタップします。

シリアル番号を入力するためのウィンドウが表示されます。

⑤タスクトレイの ボタンのタップでキーボードを表示させ、シリアル番号をタイプングし、>>> 「OK」をタップします。

⑥登録済みシリアルが表示されたら >>> 「OK」をタップして完了です。

キングソフトオフィスは商用利用も許諾されています。また、お手持ちのスマートフォンなどでライセンスカードのQRコードまたはURLからアクセスし、同じシリアル番号を入力すれば、KINGSOFT Office for AndroidやKINGSOFT Office for iOSも無料で使用できます。

■「タイル(アプリ)」にアプリやフォルダをピン留めする方法

例としてキングソフトオフィスのアイコンをスタート画面の「タイル」にピン留めします。

スタートメニュー⇒「すべてのアプリ」⇒アプリ名の一覧表示にある「Kingsoft Office」のフォルダをタップして、長押しして、離すと表示されたウィンドウの中の「スタート画面にピン留めする」をタップ

⇒タイルに「Kingsoft Presentation」アイコンがピン留めされました。

タイルにピン留めしたアイコンは、サイズ変更(長押しして表示される をタップして選択)や、スライドによる移動(長押しして、背景の色が変わったらドラッグ)がおこなえます。

5-4. 次回電源をONにするときは

方法は[4-2. 本機の電源をONにする]をご参照ください。右のロック画面が表示されます。右の方法でロック画面を解除し、パスワード設定をしている場合は次に表示されるログイン画面にパスワードを入力(サインイン)します。

5-5. ほか、あらかじめ知っておきたいこと

■インターネットの閲覧をおこなう方法
便利編集ツールを採用したWindowsの新ブラウザ「Edge」が使用できます。「タイル」タスクバーのボタン すべてアプリ⇒「Windows アクセサリー」フォルダの中に格納されている従来のブラウザも使用できます。

■開いているアプリの切り替え方法
 ←タスクバーにあるタスクビューボタンをタップ、現在開いているアプリを一覧表示してから目的のウィンドウをタップします。

■ほかの機能説明や手順について
ほかの機能説明や手順についてはWindows 10の説明アプリ「はじめに」をご参照ください。 スタートメニュー⇒「よく使うアプリ」

■「Microsoftアカウント」について
「Cortana(コルタナ)」「OneDrive(ワンドライブ)」「OneNote(ワンノート)」「ストア」など、すべてのMicrosoftのサービスをご利用になる場合「Microsoftアカウント」の入力や取得(無料)が必要です。Microsoftアカウントとは末尾に@outlook.jp、@outlook.com、@live.jpなどがついたMicrosoftのメールアドレス形式のIDとそのパスワードの組み合わせのことです。まだお持ちでない場合はいつでも以下から新規取得ができます。 アクションセンター⇒「すべての設定」タイル⇒「アカウント」⇒「メールとアカウント」

6. データのバックアップと初期化について

初期化とは、Windowsのシステムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の記憶媒体を消去し、工場出荷時状態に戻すことです。

バックアップとは、外部記憶媒体へのデータ複製のことです。初期化をおこなうと、本機内の記憶媒体のデータはすべて工場出荷時状態に戻り、消えたデータが復旧できなくなります。日頃から定期的にバックアップをおこなうとともに、大切なデータはお客様が初期化を実施する前(または修理に出す前)にバックアップをお取りください。

6-1. データをバックアップ(複製)する

①アクションセンターを開き、 すべての設定」タイルをタップして設定を開きます。(スタート画面からも同じ設定画面を開くことができます。)>>> 「更新とセキュリティ」をタップします

②更新とセキュリティ画面が表示されたら「バックアップ」をタップします。右のファイル履歴を使用してバックアップ画面が表示されたら >>> 本機に「別のドライブ」を接続(または挿入)し、その後、「ドライブの追加」をタップします。

別のドライブとは、USBメモリー、SDカード、外付けHDD/SSDをはじめとする外部記憶媒体(外部ストレージ)のことです。容量に合ったものをご用意ください。

③画面上「ドライブを選んでください」とメッセージが出たら >>> 表示されたドライブ名をタップ(選択)します。「ファイルのバックアップを自動的に実行-オン」が表示されたら >>> 「その他のオプション」をタップします。

バックアップが始まります。バックアップが終わり、最新のバックアップ日時が表示されるまでドライブを取り外さないで下さい。

④概要ページが表示されたら >>> 「今すぐバックアップ」をタップします。

初期化後、再度初期設定が終わったら、データを記録したドライブを本機に接続(挿入)し、初期化後、再度初期設定が終わったら、データを記録したドライブを本機に接続(挿入)し、「バックアップオプション」の「概要」ページを下にスライド(スクロール)し、「現在のバックアップからファイルを復元」をタップします。画面にコピーの実行が表示されるので終わるまで待ちます。

★バックアップしたデータを復元する(初期化後におこなってください)

初期化後、再度初期設定が終わったら、データを記録したドライブを本機に接続(挿入)し、「バックアップオプション」の「概要」ページを下にスライド(スクロール)し、「現在のバックアップからファイルを復元」をタップします。画面にコピーの実行が表示されるので終わるまで待ちます。

関連設定 詳細設定 現在のバックアップからファイルを復元

6-2. 本機の初期化(「リカバリ」ともいいます)を実行する

①本機にACアダプター・電源コードを接続します。
初期化が終わるまで、ACアダプター・電源コードを取り外さないでください。初期化は最大数時間かかる場合がありますが中断はできません。Windowsのデータが破壊する場合がありますので、決して電源をOFFにしないでください。途中画面表示が一時的に横や縦に切り替わる場合がありますが故障ではありません。

②アクションセンターを開き、 すべての設定」タイルをタップします。設定画面が表示されたら、>>> 「更新とセキュリティ」⇒「回復」の順にタップします。右の「PCを初期状態に戻す」画面が表示されたら >>> 「開始する」をタップします。

③初期化のオプションをタップ(選択)します。

●個人用ファイルを保持する
アプリと設定は消去されますが、個人用ファイルは保持される初期化方法です。

●すべて削除する
個人用ファイル、アプリ、設定がすべて消去され工場出荷時状態に戻ります。(ここではすべて削除するを説明します。)

④初期化のレベルをタップ(選択)します。

●ファイルの削除のみ行う
不具合などの復旧目的にはこちらが推奨されています。比較的短時間で終わります。

●ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する。
PCをリサイクルする際などに推奨されています。(数時間かかる場合があります。)

⑤>>> 「初期状態に戻す」をタップします。初期化が始まります。

何度か画面が切り替わりながら初期化が実行されていきます。途中「オプションの選択」画面が表示されたら「続行」をタップしてWindows 10の初期設定(セットアップ)画面が表示されるまでそのまま待ち、続いて初期設定をおこなってください。

7. BIOSについて

本機のデスクトップにある「BIOSセットアップマニュアル」のアイコンからご参照ください。

8. 本機の仕様について

■製品仕様書などについて
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。
http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx

■有寿命部品、消耗品について

有寿命部品	ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル
消耗品	バッテリーパック、電源ケーブル(USBケーブル)

本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

■バッテリーサイクルについて

[800サイクル] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[80%]以上です(内蔵/バッテリーパックは消耗品です。)バッテリーはご使用により徐々に劣化していきます(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、オンキヨーPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。 [別冊] 使用上の注意・サポートガイド]もお読みください。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間	製造打ち切り後2年間
--------------	------------

補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

■無線LANおよびBluetoothワイヤステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤステクノロジー

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業、科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ①この機器を使用する前に近くに移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていることを確認してください。
- ②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- ③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4	(2.4GHz帯無線LAN)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。 *使用できるチャンネル(ch)は、1ch~13chです。
-------------	---

2.4 FH 4	(Bluetoothワイヤステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。 *送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。
----------	---

5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)	この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。
IEEE802.11a/n/ac	W52:36ch, 40ch, 44ch, 48ch W53:52ch, 56ch, 60ch, 64ch W56:100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch

*W52とW53は、電波法によりご利用が随分制限されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなったうえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵/バッテリーの充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないのをご注意ください。

■高調波電流規制について

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©Copyright 2016 MOL JAPAN CORPORATION. All rights reserved.
製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。本書で使用する画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一不審な点や誤り等がありましたら、オンキヨーPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはソフトウェア契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめください。本製品に記録した著作物は、個人で楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。商標について: Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Atom、Atomロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。Microsoft、Windows及びWindowsロゴ、Excel、PowerPointはマイクロソフト企業グループの商標です。Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、MOLジャパン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書では ®マーク、TMマークを省略しています。

DC1191-01A 2016年3月 初版

MOLジャパン株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番7号 青山コンパルビル
お問い合わせ先: オンキヨーPCカスタマーセンター
電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134
サポートホームページ <http://pc-support.jp.onkyo.com/>